

じんけんコラム(8月)

じんけんコラム ホツと♡スペース

ひとにやさしい、じぶんによさしい
あたたかい話題をとどけます!

ハンセン病と菊池恵楓園の歴史を学ぶ



ハンセン病は「らい菌」によって引き起こされる感染症です。感染力は非常に弱いのですが、貧しく衛生環境が整っていなかった時代は多くの患者が存在しました。太平洋戦争後に療法薬が開発されて治療可能となり、現在では完治する病となりました。

合志市の菊池恵楓園歴史資料館は、令和4年5月にリニューアルオープンしました。ハンセン病問題、及びハンセン病差別のなかで力強く生き抜いてきた恵楓園入所者の方々の人生を後世に伝え、そのことを通して人権が真の意味で尊重される社会を実現することを目指した施設です。例年8月は、熊本市の教職員140余名が参加し、菊池恵楓園で現地学習を行っています(菊池恵楓園歴史資料館は一般の方も見学可能とのことです。詳しくは菊池恵楓園のホームページをご覧ください)。

ハンセン病回復者やご家族が国と社会から受けてきた差別や偏見は、重大な人権侵害です。ハンセン病と菊池恵楓園の歴史を学ぶことは、これからの社会の在り方や私たちの生き方について考えるきっかけとなるのではないのでしょうか。